

きらり 看護学生

2022年 **04 05** 月号



- 02・03 看護の現場より — 伊勢田 美樹さん(共立病院)
- 04・05 1年目を終えた看護師インタビュー
- 06 私の出会った患者さん — 足立 嘉奈さん(尼崎医療生協病院)

- 07 ほっとStation
- 08 鈴木富雄医師による患者中心の医療
オンラインワークショップ

看護の現場より

看護学生のみなさんに、私たちが日々看護を
実践している現場での奮闘ぶりや、看護に
対する熱い思いをシリーズで紹介します。

訪問診療で働く ナースとしてのやりがい

共立病院 外来
伊勢田 美樹さん



■ 訪問診療

今回は、あまり知られていない訪問診療における
看護師の役割、業務内容についてお話したいと思います。

まず、業務内容としては二つに分けられます。

1) 訪問診療の同行業務

訪問診療では、医師に同行して患者さまのバイタル
測定や採血、その方に必要な処置などを行います。最
近では、コロナワクチンの接種も行っています。患者
さまが発熱した場合や濃厚接触者となった場合は、
防護服を着用して訪問し、PCR検査の採取や処置な
ども行います。

医師は医学的な視点で患者さまの診察をします
が、患者さまや家族
さまからの相談に応
じて、看護師の視点
で療養上の生活の
留意点などのアドバ
イスを行うことがあ
ります。

在宅療養を継続
していく上で欠かせ
ないのが、訪問看護



師・ケアマネジャー・
ヘルパーなどの介護
事業所のスタッフと
の連携です。患者さ
まの自宅に連絡ノー
トを置き、その日の
状態やケア内容、診
察内容、連絡事項な
どを記入します。緊
急対応が必要な場合
には、業務用の携帯
で連絡をするなど
の情報共有を行って
います。



2) その他の業務

訪問診療スケジュールの確認、物品の手配、準備、
患者さまやその家族さまとの電話、訪問診療導入の
手続き、退院前のカンファレンスの参加などがありま
す。

■ 訪問診療への思い、やりがい

私は、病棟から外来へ部署異動して1年程です。訪
問診療に同行した初めの頃、訪問先で「親を最期自
宅で看取りたい。」「最期はどんな感じになります
か?」という質問や希望があり、お話の途中で家族さ
まが不安で泣き出してしまう場面がありました。病棟
では、今までに何度も入院患者さまが最期を病院で



訪問診療の様子

迎える様子は見てきました。

しかし、在宅ではどのように医療側や介護側スタッフが介入していくのか知識としてはありましたが、実際にはどのようなタイミングでアプローチを患者さま家族さまに行っていくのかわからず、十分な説明が出来ませんでした。その時は、ケアマネジャーや訪問看護師が質問に対して一つ一つ丁寧に説明し応えていました。その後、何度かその方の訪問診療に同行する機会があり、家族さまの表情が落ち着き、徐々に最期の受け入れが出来ている様子でした。

最期は、穏やかに家族さまに見守られながらその時を迎えることができたそうです。数日後、家族さまが来院されることがあり、私達スタッフに挨拶してくださいました。その時の様子は、自宅で看取ることが

でき安堵している表情でした。私はその姿を見ることができてほっとした気持ちと、それと同時にもっと知識・経験を積み、在宅療養を支えるチームの一員として動けるようになりたいと強く思いました。

患者さまや家族さまが安心、安楽に過ごしその人らしく生きていくためには、その方の歴史・生活の場・思いを知り寄り添う必要があります。疾患や検査データ・投薬内容などもとても大事ですが、その人らしく生きていくために訪問診療の看護師として、今何ができるかを考えることが重要だと感じます。

■ 学生のみなさんへ

学生のみなさんも、コロナ禍での実習や国家試験など大変だと思います。現場でも、発熱の患者さまや

コロナ陽性の患者さまの対応で忙しい日々を送っています。こんな大変な状況でもみなさんが夢に向かって頑張っていると思うと、自分も頑張るぞという気持ちになります!!

看護師になってからも忙しく大変ですが、楽しいことも沢山あります。いくつになっても働きがいがあります。将来、現場で一緒に働けたらいいですね。その日を楽しみにしています。





入職した当初は、記録の書き方がわからなかったり、患者さんの処置や吸引を行うことに恐怖を感じていました。気が付けば当たり前のよう患者さんの状態や肺の音を聴いて吸引を行うようになってたり、それらの処置から得た情報でアセスメントできるようになりました。入職した時と比べ知識量やできる処置も増え成長を実感します。

私は男性看護師で、清拭やおむつ交換など女性の患者さんから拒否されることもあります。そのことは、仕方がないことだと割り切り、力仕事である重介助者の移乗などで、様々な職種からも頼りにされることが増え、チームの一員としての役割を感じています。

日々知らない疾患や症状に当たり、自分の知識不足を痛感する毎日ですが、どんどんと新しいことを学ぶことができ、自分のアセスメントを先輩に褒められるととても嬉しい気持ちになります。

初めは不安や緊張、失敗ばかりですが、優しい先輩もたくさんおられ、周りの先輩や同期に励まされ支えられながら何とか頑張って働いています。私のような男性看護師も少しずつ増えてきています。男性の学生さん、ぜひ一緒に看護の道を目指しませんか？お待ちしております!!

尼崎医療生協病院
急性期病棟 笠井 元樹



コロナ禍で学生時代、半分以上実習に行けず、患者さんと関わる機会が少ない状態で現場に入ったので、学生と仕事内容のギャップが大きくて初めはついていくのがしんどかったです。初めて社会人として働きだしたので、職場の方々とどうコミュニケーションをとればいいのかも最初は戸惑いました。

日々患者さんと関わっていく中で、やはり「ありがとう」と言われるのはうれしいです。自分の関わりが少しでもお役に立てたのかなあ、と感じるからです。毎日、新しいことの連続！学ぶことが多い中で、先輩から「成長したね」とお声をかけていただいたときは本当にうれしかったです。

東神戸病院
急性期病棟 中川 舞



同期の3人(右が中川さん)




1年目を終えた 看護師 インタビュー

昨年コロナ禍で入職した看護師に1年間の研修を振りかえってもらいました。



看護師になりすぐに様々な看護技術を覚えました。見学を行い先輩と共に実施しましたが、いざ一人で実施すると上手くできないことが多かったです。一年が経過した今では多くのことができるようになりました。

今後も未経験のことに積極的にチャレンジしていきたいと思えます。

多くの患者さんを受け持つ際に、優先順位を考えて行動することの大切さも学びました。

入職して不安なこともたくさんありましたが、先輩方に相談してアドバイスをいただき、乗り越えることができました。先輩方に感謝し、これからも成長していけるよう頑張っていきたいと思えます。

共立病院
地域包括ケア病棟 山田 菜月



私は現在透析室に勤務しています。1年前に所属を知った時は、まさか自分が透析室の配属になるとは思ってもおらず、不安な気持ちでのスタートでした。最初の数カ月は新しく覚えることがたくさんあり、いっぱいいっぱいになったり、上手くできない自分に悔しく思う日が多くありました。

それでも、プリセプターや先輩方が優しく指導やアドバイスをしてくれて、透析看護のおもしろさを感じるようになりました。また、同期とお互いの状況を話すことで、不安な思いなどを共有し、「一緒に頑張ろうね」と励まし合ってきたことも頑張る原動力になりました。

そして最後に、患者さんからの「ありがとう」や「お仕事慣れてきましたね」という言葉をかけてもらったことも、もっといい看護ができるように頑張ろうと思うことができました。まだまだ新人ですが、これからも患者さんに寄り添った看護を日々考え実践していきたいです。

神戸協同病院
透析室 若松 あゆみ



私の出会った患者さん



私は尼崎医療
生協病院緩和ケア病棟
10年目の看護師です。10年
目と言っても、新卒からではな
くそれ相應に歳を重ねて
います。(笑)

尼崎医療生協病院
緩和ケア病棟
足立 嘉奈さん



【患者さん紹介】

Aさん/女性/50代/女性/膠芽腫
家族：夫3年前に当病棟で逝去・長男・長女

緩和ケア病棟での患者さんやご家族との関わりは日々勉強であり、時には感動となり、全てが私の看護師人生の中で大きな財産となっています。その中で私が緩和ケアの看護師として自分を深く考えるきっかけとなり、心に残っている事例をご紹介します。



Aさんは入院当初、意思疎通が難しい部分もありましたが、簡単な会話は可能で食事や排泄は自分でできていました。そこで早々にリハビリを開始し、少しでも長くその状態が続くようにしました。しかし入院3週間を経過したころから、食べられなくなり緩やかに病状の進行がみられ、予後は週から日にち単位と予測されました。衰弱が進行してくると、これまで通りの点滴などの治療やケアが負担になっていないかなど、治療方針を見直す時期でもあります。医療スタッフで検討した結果、現在のAさんに点滴を継続することは身体の負担になると考えられましたが、Aさん家族は継続を希望され最小限の量で最期まで行いました。

誕生日を1週間後に控えたある日、家族の「その日まで頑張ってもらいたい」という期待に反し、予後は時間単位で今日明日にでも看取りをむかえてもおかしく



ない病状だと、私から家族へ説明をしました。そのような病状ではありましたが、家族と相談し予定していた誕生日会を急遽早めて行うことにしました。長男家族・長女・実姉兄・義姉夫婦(夫の実姉)と私も参加させていただき、ケーキや花束とともに賑やかな雰囲気の中でAさんを囲んで写真撮影が行われました。朦朧とした意識のAさんでしたが、私には参加した家族みんなに「ありがとう」と言われている様に感じました。その翌朝、大切な家族に見守られ、Aさんは静かにご主人のもとへ旅立たれました。

亡くなるその日まで願いや希望を支える

家族は第二の患者と言われており、それは家族も私達がケアすべき存在であるということです。看取りが近い患者の多くは既に意思表示ができず、そんな患者にとって家族は自分の大切な代弁者でもあります。その家族が、患者と過ごした入院生活や看取りの体験が後々の人生の中で辛い思い出として残らないよう、様々な決断やその思いに寄り添い、配慮をしていくことが重要です。それがAさんの家族にとっては点滴の継続であり、看取り直前の誕生日会というイベントであったと思います。患者・家族にとって望ましい最期と医療者が考える望ましい最期には食い違ふこともあります。私はこのAさん家族との経験を通し、自分は患者・家族の希望に寄り添い考えることができているか、行ったケアが自己満足になってはいないか、と常に振り返るようになりました。

看護師を目指しているみなさんへ

コロナ禍の影響で全てのことに制限があり、焦りや不安に駆られているのではないかと思います。私は緩和ケア病棟の看護師として、人として **今ここ** を大切にしています。

今、みなさんも大変辛い状況かと思いますが、どうか **今この時にしかできないこと**、**今この時にできること** に希望と自信を持ち、前進していただきたいと思います。



読者の声



気づいてくれてありがとうございます。[なぜ?]と感じながら、患者さんとかかわると大切なことに気づかされます。

患者さんの行動や言動に「なぜ?」と思うと、ケアにつなげることが患者さんに寄り添う看護だと思いました。(専門学生 一)

アルバイトお疲れ様です。休みを使って、高齢者の方と接する機会を作っているなんて素敵です。私たちはワクチン会場に行けない高齢者の方に在宅までワクチンを打ちに行っています。希望の方が安心してできるシステムにしたいですね!

私は今、春休みでコロナワクチン接種会場でアルバイトをしています。高齢者の方と接したり、お手伝いしたり、充実した日々が過ごせています。(大学生 おかゆ)

最近、この間違い探しにはまっています!!今は就活中ですが、皆さんは病院をどのように決められましたか?(大学生 藻)

まずはしっかり病院のホームページを見てください。そしてやはり百聞は一見に如かず!病院見学してみてくださいはどうか!?

みなさんの感想が私たちの元気の源です!ご期待に添えられるよう頑張ります!!

病院に怖いというイメージがりましたが、地域の診療所は雰囲気があたたかくて良いなと思いました。フライトナースや救急の看護師に憧れがあるので、特集して頂けたら嬉しいです!いつも充実した記事をありがとうございます!(高校生 くら)

ご褒美サイコー!ON、OFFの切り替え上手は仕事も上手って言われています。

コロナ禍という制限の中、2週間の実習に行くことができました。多くの事を学ぶ事ができました。自分へのご褒美に呪術廻戦の映画を観に行ってきました!とても良かったです!(大学生 ちーず)

今年から看護の専門学校に行くことになりました。不安なことばかりだけれど、自分のなりたい看護師像を目標に頑張りたいと重いです!!(高校生 まーる)

ヨット部として活動しながら看護大学を目指しています。あと少しで引退、本格的に受験モードになりますが、さらに看学生に載っている皆さんのようにカッコイイ看護師になれるように頑張ります!(高校生 ぷりん)

高校生から大学4年生の現在に至るまで長い間お世話になりました。春からは1人の看護師として働くことになりました。この道を目指したきっかけ「神戸協同病院」での1日看護体験でした。大切な思い出です。間違い探しはいつも楽しく読ませていただきました。今まで本当にありがとうございました!(大学生)

よかったです。ドキドキしている期待と不安が入り混じっているとありますが、素敵な看護師さんになってください。焦らず、1歩1歩です。

うれしいです!楽しみにしています。新しいこといっぱいあると思いますが、楽しんで学生生活おくらしてくださいね。

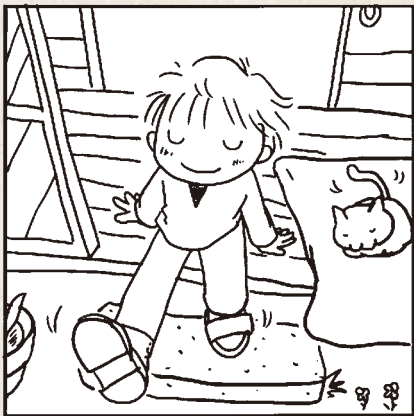
何かに一生懸命取り組んでいる人はカッコいいですね。ヨット部を最後まで続ける。素敵な高校生活だったんだろうなあとと思います。そんな方は最後まであきらめない力をもっていると思います。がんばれ!

私は春から看護学生になるのですが、何か準備しておいた方がいいことがあれば教えてください。(高校生 AIM)

不安がいっぱいありますが、まずは健康で元気が一番です。

家族に介護している人がいて、訪看さんや訪問ドクターを身近に感じていたので、看護師の道に迷いはありません。(高校生)

「慣れた家で過ごしたい」家族の思いを受けながら介護してくれているんですね。ありがとうございます。その思いを持ち続けて看護師になってください。



8つのまちがい

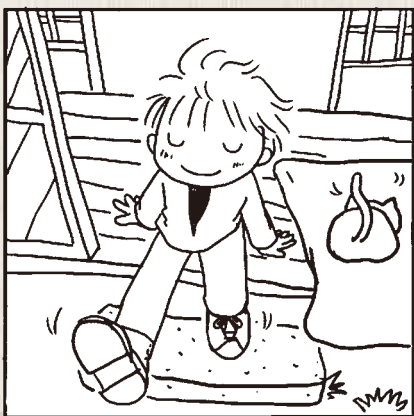
[問題] 上の絵と下の絵では8つのまちがいがあります!どこでしょう?

同封の返信ハガキに答えを書いて応募してください。応募いただいた正解者に抽選で図書カードをプレゼント! 5月14日(土)



必着。当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

←前回のまちがいがしらの答え



編集後記

春の季節。うきうきするはずなんですが、私は毎年いつも少し寂しくなります。いつも見慣れた景色なただけ、春のおいせい、少し変化のある日常に感じるからなのか…。ちょっと立ち止まり、振り返り過去を思い出す。「あーあんなことあったな」なんて。あの人どうしてるのかな、とか。でもそのことを考えたら次は、1歩前進できるんです。また新しい季節がやってくる。今度はどんなことがあるのかな。毎年そんなことを繰り返し〇〇歳、今日も1日を楽しんでいます。みなさんも楽しまなきヤソソソ!(Y)

オンライン

鈴木富雄医師による

患者中心の医療 ワークショップ

～医療人になるあなたへ、これからの医療に求められること～

2022年 **5月21日** **土**
14:00～17:00 (終了予定)

※オンライン (Zoomを使用します)

対象 医学生、看護学生、薬学生、歯学生、
医師をめざす高校生・予備校生

アルコール依存症の患者さんが外泊中に朝までお酒を飲み、緊急搬送された。
この患者さんは、アルコール専門病院での治療に消極的で…。
あなたが主治医ならどうしますか？ (昨年症例より)

医学生、薬学生、看護学生で、ディスカッションし、交流しませんか？

参加学生の感想

事例についてグループで話し合い、さまざまな視点を持った医学生・薬学生の方の意見を聞くことができ、とても勉強になりました。まだ知識がそこまでついていないのでこれを機にもっと学びを深めたいと感じました。(尼崎看護専門学校2年生)

将来行うであろう「多職種連携」を強く感じさせるディスカッションになり、とても勉強になりました。(専門学校2年生)



鈴木富雄医師

大阪医科薬科大学・医学部医学科・教授
地域総合医療科学寄附講座・特別任命教員教授

「ドクターG」(NHK総合)ほか、
「たけしの健康エンターテインメント!みんなの家庭の医学」(朝日放送)にも出演。

お申込み・お問い合わせ

- ▶ 右のQRコードよりGoogleフォームにアクセスし、必要事項を入力の上お申し込みください。
- ▶ ご不明な点等は電話やメールにてお問い合わせください。

兵庫県民主医療機関連合会(民医連) 医系学生担当
兵庫県神戸市中央区港島南町5丁目3-7 TEL:078-303-7351
Email: igakusei@hyogo-min.com

